

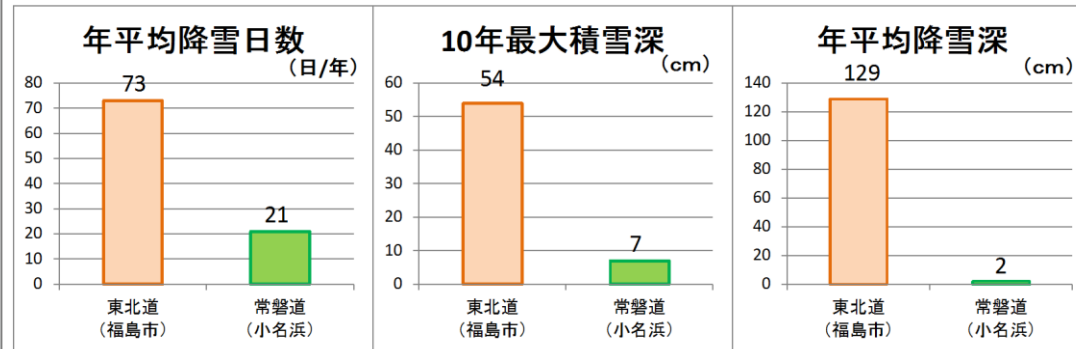
東北道とのダブルネットワーク完成で事故・災害・異常気象時の代替ルートを確認

NEXCO

- 首都圏と仙台圏を結ぶ常磐道と東北道の距離はほぼ等距離
- 東北道、磐越道、北関東道とともにラダー型ダブルネットワークを形成
- 常磐道は東北道に比べ降雪が少なく、冬期間の安定的な交通確保が可能
- 東北道の事故・災害・異常気象発生時には、磐越道とともに代替ルートとして確保



▼東北道(福島市)常磐道(いわき市小名浜)の降雪状況の比較



東北道の除雪状況

移動時間が大幅に短縮、地域経済の発展に大きく貢献

NEXCO

■常磐道の全線開通により、仙台～いわき間が32分短縮

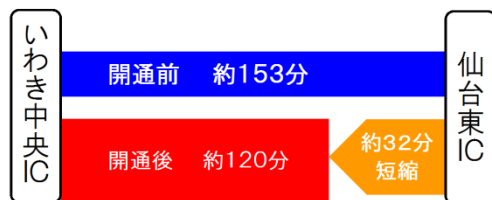
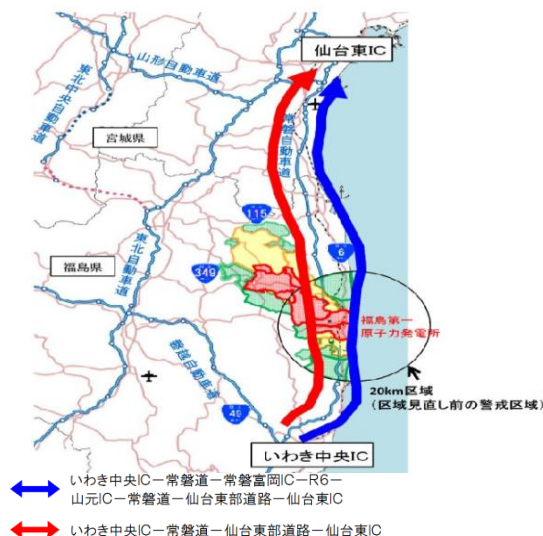
(常磐富岡IC～山元IC間を国道6号で通行した場合との比較)

■震災以降、長期間にわたり福島県浜通りの通行は内陸部への迂回を余儀なくされていたところ、全線開通により相馬～いわき間が1時間2分短縮

(磐越道 船引三春IC～相馬IC間を国道349号・国道115号で迂回した場合との比較)

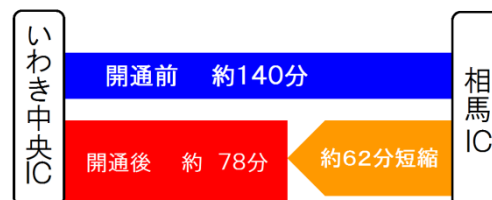
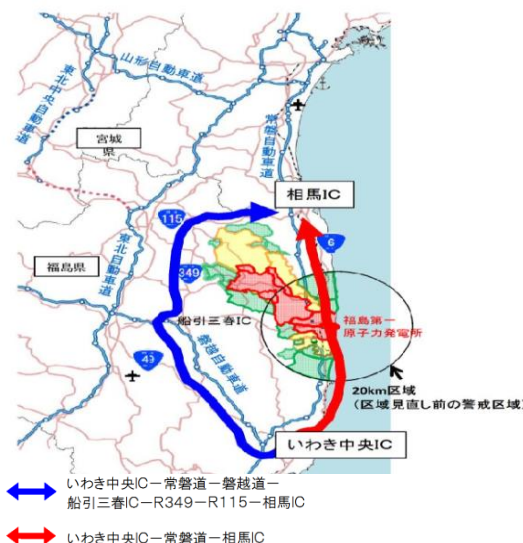
① いわき～仙台間の時間短縮

(常磐富岡IC～山元IC間を国道6号で通行した場合との比較)



② いわき～相馬間の時間短縮

(内陸部への迂回した場合との比較)



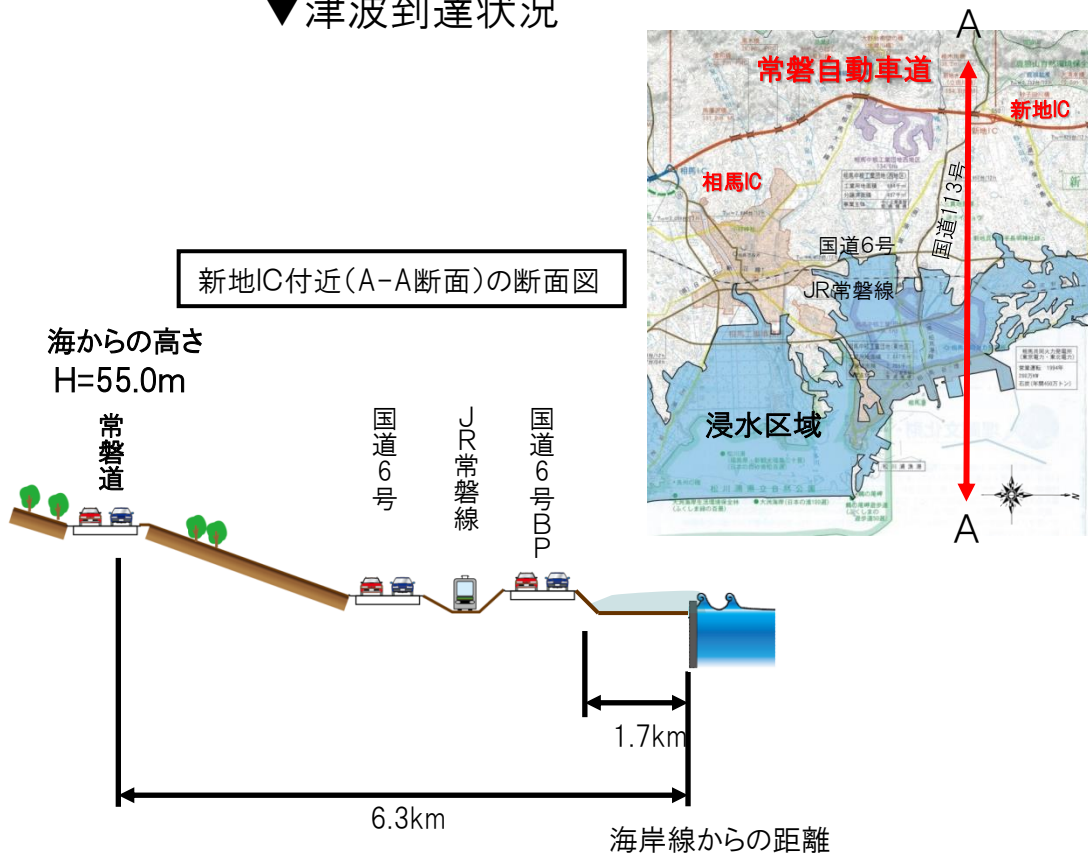
※移動時間の算出方法：一般道はルート検索ソフトによる検索結果(平日12時出発で算出)。高速道路は、規制速度で走行した場合の移動時間の合算。

津波被害のない高台を通過、被災時の『命の道』が完成

NEXCO

- 東日本大震災による津波は、JRや国道6号バイパス付近に到達
- 津波浸水区域よりも高台を通過する常磐道は緊急時の「命の道」としての機能に期待
- 国道6号とともに福島県浜通りの交通路として復興事業への寄与が期待されます

▼津波到達状況



▼JR常磐線の運転見合わせ区間

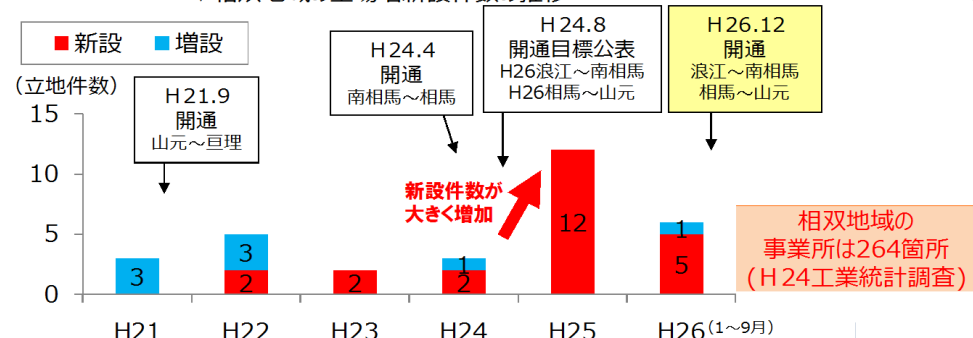


相双地域の振興への期待

NEXCO

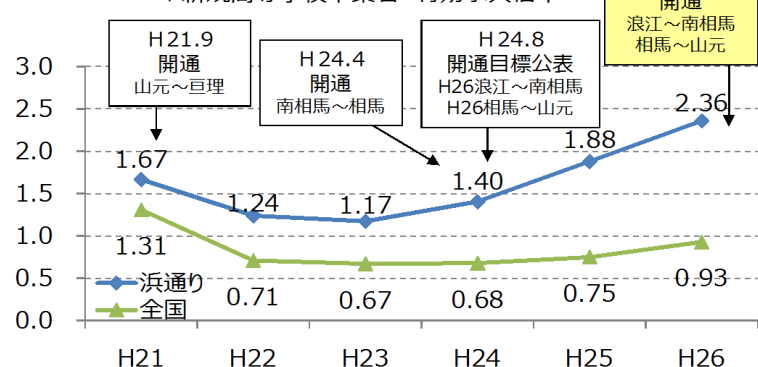
- 相双地域では常磐道開通を踏まえ近年にない企業立地の動きが加速
- 高校卒業者の有効求人倍率は全国平均の約2.5倍
- 復興推進事業の更なる加速に期待

▼ 相双地域の工場増新設件数の推移



相双地域：南相馬市、相馬市、新地町、飯館村、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村
資料：福島県企業立地課

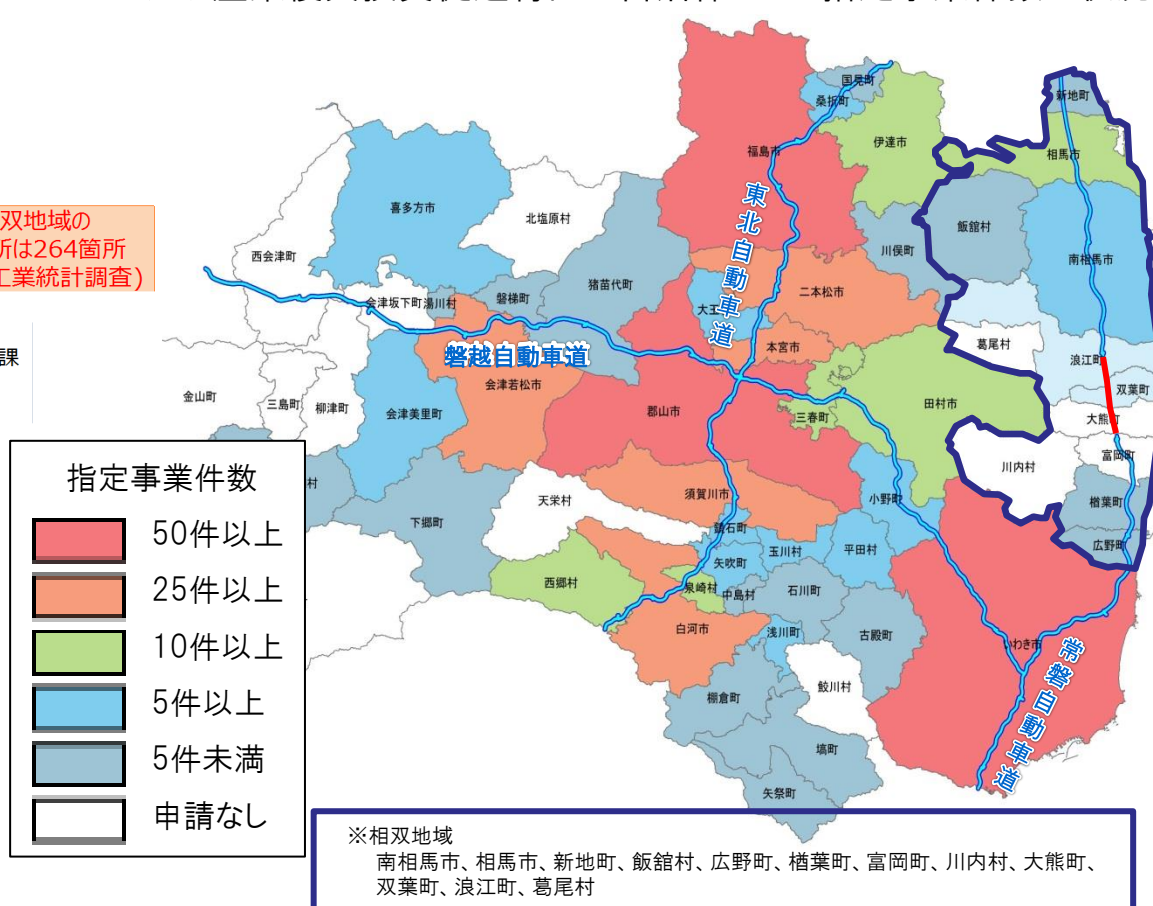
▼ 新規高等学校卒業者 有効求人倍率



資料：厚生労働省福島労働局・厚生労働省 ※各年6月の値

浜通り：南相馬市、相馬市、新地町、飯館村、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、いわき市

▼ 福島産業復興投資促進特区の自治体ごとの指定事業件数の状況



- 常磐道が開通することにより周辺観光地への利便性が向上し観光・交流が活発化
- 点から面的な観光ネットワークの形成に期待



松川浦県立自然公園



相馬野馬追



スパリゾートハワイアンズ



環境水族館アクアマリンふくしま

